

# 推薦入試の合否判定基準

## ★合否の判定

中学校から提出された書類をもとに面接を行い、規定の評価基準に照らして作成した内申・推薦項目の評価と面接の結果について審議し合否を判定する。

### 1. 内申の評価

A段階：次のア～ウの基準を満たしたもので評定平均が4.0以上あるもの

B段階：次のア～ウの基準を満たしたもので評定平均が3.0～3.9のもの

C段階：次のア～ウの基準を一つでも満たしていないもの

[内申基準]

ア. 成績について

3ヵ年間の評定平均が3.0以上で、評価に「1」（5段階）がないこと。

イ. 出席状況

- ① 遅刻が各学年とも5回以内であること。
- ② 無届の欠課が各学年とも5回以内であること。
- ③ 無届の欠席が各学年とも3回以内であること。

ウ. その他、行動の記録等に問題がないと認められるもの。

### 2. 推薦項目の評価

次に定めた評価基準にもとづいて、高い順からA・B・Cの三段階とする。

(1) 「自己表現」のランク ※最も実績を残した活動を示す証明書が必要。

ランク 活動分野	A	B	C
(ア) 文化活動	・ 県レベル以上の実績 金賞、最優秀賞、優秀賞、 舞踊等の新人賞、 生徒会長・副会長	・ 地区レベル以上の実績 県レベルの優良賞、佳作、 奨励賞、銀賞、銅賞、 地区レベルの優良賞以上、 生徒会役員執行部	・ 校内活動の実績 学級役員 学校代表
(イ) スポーツ活動 ※当該競技の登録 メンバー表も提出	・ 県大会以上の実績 県大会ベスト4以上 ※団体競技は登録 メンバーとする	・ 地区大会以上の実績 県大会ベスト8 地区大会ベスト4以上 ※団体競技は登録 メンバーとする	・ 学校代表の実績 学校代表選手
(ウ) 社会活動	・ 県全域を対象とした 団体からの表彰 (2年以上の活動歴が あること)	・ 市町村及び地域団体 からの表彰 (1年以上の活動歴が あること)	・ 校内での活動実績 学校長、生徒会の表彰
(エ) ボランティア活動	・ 県全域を対象とした 団体からの表彰 (2年以上の活動歴が あること)	・ 市町村及び地域団体 からの表彰 (2年以上の活動歴が あること)	・ 校内での活動実績 学校長、生徒会の表彰
(オ) 資格取得等の活動	英検準2級以上 漢検準2級以上 数検準2級以上	英検3級 漢検3級 数検3級	英検4級 漢検4級 数検4級

①各分野のランクは、原則として上記の基準に従い全体のバランスを考慮して決定する。

②上記以外の実績については、それぞれのランクに照らして決定する。

(2) 「個性表現」のランク

申請のあった内容で10分程度の発表をした後、5分程度の質疑を行う。

専門の審査員でA、B、Cの評価をする。評価は「自己表現」のランクを基準とする。

### 3. 面接の評価

15分程度の面接を行い、A・B・Cの三段階で評価する。